



だより



R7.11.18 Vol.28

学校評価より

学校評価へのご協力ありがとうございました。詳細は別紙にてご連絡します。自由記述の中でこんなご意見がありました。「陸上大会で自己ベストが出せたことがとても嬉しかったようです。次は音楽会を頑張る！と言っています。」ここに私が目指している学校の姿があります。

一つの達成感や充実感が次の活動のモチベーションとなる。これは『**自分は一生懸命努力した**』という思いの裏付けがあるからなのだと思います。この繰り返しこそが子供のより良い成長につながる。私はそう信じています。そしてそのために私たち教師は何ができるのか？どんなスキルを身に付けておくべきなのか？教育のプロとして、チーム真穴としてこれからも研鑽を積んでいきたいと思ったご感想でした。

2日連続

「校長先生！この前は2日連続！釣りに行ってましたね？」最早、休み明け恒例の子供チェックです。(笑)言い訳ではありませんが、土曜日は10時くらいまで日曜は昼すぎから15時くらいまでの短時間だったんですよ。すごく遊び呆けているように思われていたらどうしよう…。その釣りも釣れるに超したことはないのですが、釣れなくても海に出て景色や空が白む様子を見るだけでも癒されます。

日曜の釣り。帰り道を歩いていると、休日出勤していたであろう学校帰りの教頭先生にバッタリ。「あ！校長先生！」私のいで立ちを見て、「お疲れさまでした！」と静かに去っていきました。『私は仕事…校長先生は釣りですか…。』そんな心の声が聞こえてきたような気がして帰り道をそそくさと急いだ日曜の夕方でした。(もちろん教頭先生はそんなこと1ミリも思っていない！はず…笑)

四方山話真穴 ver2. 其の二十八(みる)

「先生」という言葉から想像する職業は「学校の先生」か「病院の先生」が多いのではないのでしょうか。どちらも人を「みる」のが仕事です。さてこの「みる」を漢字で表すと「見る・診る・看る・視る・観る」これだけの表記があります。「診察」という言葉があるように病院の先生は「診る」ですよね。私たち教員はどの「みる」だと思いますか？私なりの答えを持って生成 AI に聞いてみると…「視る」でした。「注意深くみる」そんな意味があります。私が考えていた「みる」はもう一つありました。「看る」です。これも「看護師」という言葉があるように「世話をする、支える」そんな意味があります。

「**学校は社会の縮図である。**」という言葉があるように、子供たちは学校という集団社会の中で、人との関わり方を学びます。将来、一般社会に出ていくためのトレーニングの場でもあると思います。毎日、楽しい一日となることが私の願いでもあるのですが、人と関わる以上、気持ちがすれ違ったり、嫌な思いをしたりさせたり、そんなことも起こります。私はそんな経験をするのも学びの一つだと考えています。自分勝手なことを言ったり、人に迷惑をかけるようなことをしたり続けていたらどうなるか。それに気づくことも大切な学びです。

しかしトレーニングの場ですから、全て子供任せにするのではなく、しっかり「視る」ことが我々教師の大切な仕事の一つです。寂しい思い、つらい思いをしている子供がいないか、集団の中での子供一人ひとりの違和感にいち早く気づくこと、これは教育のプロとしてのセンスだとも思います。

私は常日頃から職員に「プロ意識を持ってください！」そんな指導をしています。日々の生活の中でしっかり子供を「視て」必要であればすぐに「看て」やること、これからも大事にしたいと思います。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。